鳥インフルエンザ 死者１０人に

4 月 11 日 20 時 52 分

中国の東部でヒトへの感染が相次いでいるＨ７Ｎ９型の鳥インフルエンザは、１１日新たに上海市などで５人の感染が確認されたほか、このうち１人が死亡し、これで感染した人は合わせて３８人、死者は１０人となりました。

各地の衛生当局の発表によりますと、１１日新たに上海市で、７４歳の無職の男性と６８歳の男性、それに８３歳の無職の女性の、３人の感染が確認され、このうち７４歳の男性は重い肺炎のため死亡しました。
また江蘇省でも揚州市の３１歳の調理師の男性と、蘇州市の５６歳の男性の、２人の感染が確認され、いずれも重体だということです。
これでＨ７Ｎ９型の鳥インフルエンザウイルスの感染が確認された人は、上海市、江蘇省、浙江省、それに安徽省で合わせて３８人、死者は１０人となりました。
感染者の数が徐々に増え、現地に在留する日本人にも不安が広がるなか、３０００人余りの児童・生徒が通う上海の日本人学校では、１１日入学式と始業式が行われました。
学校では今後通常通り授業を行う予定ですが、感染拡大に備えて情報の収集に努めるとともに、うがいの励行など予防策をまとめた資料を児童・生徒に配布し、警戒を強めています。
入学式に出席した保護者の１人は、「心配な面はありますが、学校できちんと管理しているようなので安心して任せたいと思います」と話していました。